

平成24年度（23年度対象）

## 教育委員会の点検・評価

平成24年8月

土佐清水市教育委員会

## 土佐清水市教育委員会の活動について

日本人初の留学生といわれる「ジョン万次郎こと中浜万次郎」は、アメリカにおいて語学や航海術等を学び、日本を開国と文明開化に導きました。

その「ジョン万次郎」の故郷土佐清水市の教育委員会では、「ふるさとを愛し、たくましく、心豊かな人づくり」を基本として、関係者の英知と情熱を集結し、心身ともに健康で、調和のとれた市民の育成をめざす教育行政の推進に努め、生涯にわたって「人としての尊厳」を大切にし、そして、「生涯の学び」を保障するため、家庭・学校・地域社会及び行政が一体となった教育施策の推進を、平成23年度の教育行政の基本方針として取り組んでまいりました。

主な施策としては、奨学資金制度や、各界の第一人者を講師とした夏季大学講座等をはじめ、子ども達の生きる力の醸成や安全の確保、学校・家庭及び地域住民等の連携協力により社会全体の教育力の向上、生涯スポーツ・文化芸術の振興、子どもの読書及び図書館活動などの推進に努めてまいりました。

特に、平成23年3月発生した東日本大震災を受け、各学校において津波避難場所・防災マニュアルの見直しや避難訓練・防災教育の充実などを図るとともに、老朽化が進む清水中学校の平成25年度移転改築に向け、校舎建設の発注や体育館・プール、グラウンドの設計などを行ってまいりました。

また、特別支援教育支援員の増員や、ALT（外国語指導助手）を活用しての外国語・外国文化の理解や体育・数学・英語などへ非常勤講師を雇用しての学力向上対策等を図ると共に、「放課後子ども教室」の実施など学校を側面から支援する各種事業も積極的に取り組んでまいりました。

急激な少子化を見据えた本市学校教育のあり方については、平成18年度に策定した「土佐清水市立小中学校統合実施プラン」に基づき、平成25年度市内5中学校の1校化に向けて、関係中学校区において説明会の開催いたしました。

また、学校給食のあり方について、保護者や学校関係者、婦人会の代表者などで組織した土佐清水市立小中学校給食検討委員会より早期実施が望ましい。との報告書が提出されました。

教育委員会としても、学校給食の大切さ・保護者の意向等必要性は十分に認識するものの、近い将来発生が懸念される南海地震等を勘案した時、児童生徒の命に関わる対策を優先すべきであり、学校給食については、実施はするが、まず、学校の改築等、地震・津波対策に取り組むべきであるとの合議に至り、市長に報告いたしました。

このように教育委員会が平成23年度に取り組んだ活動などを、「教育委員会活動の自己点検・評価」として報告書にまとめました。

市民の皆様におかれましては、報告書をご覧の上、ご意見・ご要望等をお寄せいただきたいと思いますと考えておりますので、よろしく願いいたします。

平成24年8月

土佐清水市教育委員会

1. 自己点検・評価

大項目	中項目		小項目		成果 及び 評価	
1 教育委員会の活動	(1)	教育委員会の会議	①	開催状況	定例会を会議規則で定めたとおり毎月1回開催、臨時教育委員会2回開催した。	4
			②	運営上の工夫	議案・資料を事前に配布し、情報交換を行った。また、十分な審議が出来るように、調査してほしい事項等を事前に事務局へ指示を行った。	3
	(2)	教育委員会と事務局との連携		適宜、情報・意見交換を行うと共に、各委員専用の文書棚を設置し情報が早く正確に伝わりやすくした。	4	
	(3)	教育委員の自己研鑽		<p>幡多市町村教育委員会連合会の研修会に3回、県市町村教育委員会連合会主催の研修会に2回参加。</p> <p>議会基本条例や、本市の財政状況についての勉強会・学校警察連絡制度、また、所管事項に対する議会常任委員会の傍聴や議会本会議の傍聴。</p> <p>市内全小中学校の学校通信を配布してもらい、各学校の取り組み状況の把握に努めた。</p> <p>毎定例会開催前に、教育委員必携等により勉強会を行った。</p>	3	
	(4)	支援・条件整備	①	学校訪問・支援	小学校3校、中学校3校を訪問し学校の課題や取組について意見交換を行い、また、学校訪問終了後、学校訪問の方法等協議し来年度に活かすようにした。また、学校行事等にも積極的に参加した。	3
			②	所管施設訪問・支援	各委員が必要に応じて所管施設等の訪問や支援を行った。	3
2 教育委員会が管理・執行する事務	(1)	教育行政の基本的な方針に関すること。		<p>活力と豊で生きがいのある郷土づくりを実現するため「ふるさとを愛し、たくましく、心豊かな人づくり」を基本として教育行政方針を定め教育施策を推進した。</p> <p>学校給食については、実施はするが学校の改築等、地震・津波対策を優先して取り組むべきであるとの合議にいたり、市長に報告した。</p>	3	
	(2)	教育委員会規則等の制定または改廃に関すること。		土佐清水市スポーツ推進審議会条例の制定等、条例3件、細則1件を審議した。	3	
	(3)	学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること。		旧養老小学校体育館を学校教育課から生涯学習課への所管替え手続き。	3	
	(4)	職員の任免その他の人事に関すること。		各機関において適切な配置がなされた。	3	
	(5)	教育予算等の議会の議決を経るべき事件の議案について意見の申し出に関すること。		教育委員会事務局各課の予算について説明を受け協議を行った。	3	

3 管理・執行を教育長に委任する事務

(1)	学校教育に関すること。	①	学校教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育支援員を小学校に8名、中学校に4名配置し学校の支援を行った。</li> <li>・学力向上に向けた「学校改善プラン」が確実に履行されるよう支援した。</li> </ul>	3
		②	教育内容の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語指導助手(1名)を配置し、小中学生に対して、国際理解と生きた外国語教育等を推進した。</li> <li>・外部講師を積極的に招聘し学校教育の充実に努めた。</li> </ul>	3
		③	教育条件(環境)の整備	<p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三崎小学校プール塗装工事実施</li> <li>・清水小学校擁壁工事実施</li> <li>・清水小学校相撲場解体実施</li> <li>・下ノ加江小学校校庭整地実施</li> <li>・清水小学校軒天崩落防止修繕</li> </ul> <p>中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下川口中学校相撲場解体実施</li> <li>・足摺岬中学校校庭整地実施</li> <li>・下ノ加江中学校特別支援学級2クラス対応及び校内階段、手摺等バリアフリー対応実施</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清水中学校の平成25年度移転改築に向け、建設用地の購入、校舎建設の発注や体育館・プール、グラウンドの設計実施。</li> <li>・土佐清水市立小中学校統合実施プランに基づき、平成25年度市内5中学校の1校化推進。</li> <li>・津波避難場所・防災マニュアルの見直しや避難訓練・防災教育等の充実。</li> </ul>	4
(2)	生涯学習に関すること。	①	文化、芸術活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第51回土佐清水市美術展覧会(10/21日～10/26日)入場者数1,492人、土佐清水市文化協会交流事業で文化祭を実施した。(10/29・30日)入場者数728人。</li> </ul>	3
		②	社会体育施設の管理と運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者制度により、NPO法人スポーツクラブ「スクラム」へ社会体育施設の管理と運営を管理代行委託し生涯スポーツの振興を推進した。</li> <li>・指定管理者制度により、社会教育施設の市民文化会館は土佐清水商工会議所へ、市民図書館はNPO法人・結の会へ、管理運営の代行を委託し、活動を推進した。</li> </ul>	3
		③	子育て支援(学童保育)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童健全育成事業(学童保育)開設日数:282日児童数:50名、延利用児童数11,101名</li> </ul>	4
		④	子育て支援(放課後子ども教室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室推進事業:放課後等に子ども達の安全で健やかな居場所づくりを推進した。</li> <li>・のびのびスポーツ教室(市民体育館):570名</li> <li>・いきいき体験教室(中央公民館):5,198名</li> <li>・放課後子ども教室(小学校5・中学校4)18,336名</li> <li>合計 24,104名</li> </ul>	3

3 管理・執行を教育長に委任する事務	(3)	中央公民館に関する こと。	①	夏季大学講座	・「心豊かな人づくり」「うるおいのあるまちづくり」を基本としながら、生涯学習の柱となるべく第46回夏季大学講座を開催した。 (7月14日、22日、8月11日)入場者数 1,569名	3
			②	こどもチャレンジ講座	・少年期における郷土愛・自主性・活動性の伸長を願い、併せて学校週5日制の有効な活用を図った。受講生16名・8講座開催(延102名)	3
			③	市民教室	・市民の文化的意欲の高まりに対する一般教養、現代的課題など様々な分野の講座を開催した。11教室、44回開催、受講者205名(延591名)	3
			④	中央公民館教養講座	・郷土の偉人、ジョン万次郎について深く知り、生き方に学び進路や生き方に役立つことを目的として教養講座を実施した。1講座開催、受講者318名	3
			⑤	公民館サークル文化展・発表会	・公民館サークルの活動状況や作品を展示し、サークル会員の意識の向上を図るとともに、市民の生涯学習への意欲を掘りおこすため文化展、発表会を実施した。文化展(2/17・18・19) 出展サークル12団体、出展数337点、入場者数245名、サークル発表会(2/25) 発表サークル11団体、出場者78名、入場者178名	3
	(4)	教育センター	①	補導センター	・学校・警察・地域、関係団体と連携を取りながら巡回活動等に重点を置き、早朝・夜間補導を定期的に行った。 ・スクールガードリーダー2名を配置し、市内小学校を中心に登下校時の見回り活動等を実施。 ・巡回数:240回・従事者数:462人・補導件数:3件(4人)	3
			②	教育研究所	・研究協力校・研究グループを委嘱し、協同で調査研究を行い、清水の教育向上に貢献した。(校内研修参加、出前授業実施) ・情報教育の推進、ホームページの更新、充実、教職員対象のパソコン講座等を実施。 ・教育相談活動(相談件数:2件、家庭訪問:86件) ・各学校の状況把握、情報交換のため定期的な学校訪問(228回) ・保幼小中高教員によるあすなろネットワークの構築、教育支援コーディネーターの育成(年間5回) ・教育研究推進事業による研究。(土佐清水市教育研究集会の支援)	3
			③	適応指導教室	・通室生に対し「心の居場所」として、自主性や社会性を育成した。 ・個々への適応指導を計画的に行い、学力への不安解消を図った。(清水高校定時制2名、大方高校1名進学) ・学校や保護者と連携し、自立や学校復帰に向けた援助を行った。(学校訪問129回、相談21件) ・家庭訪問:2名(115回) ・23年度通室生:6名(内高校進学3名、就職1名) ・清水高校定時制教員との情報交換を行った。	4

4段階評価の目安  
 4・・・目標を十分達成している  
 3・・・目標をほぼ達成している  
 2・・・目標に対しやや不十分  
 1・・・改善を要する

## 自己点検評価に対する意見

本年度は、「ふるさとを愛し、たくましく、心豊かな人づくり」を基本とし、心身ともに健康で調和のとれた市民の育成に取り組んでいる。生涯にわたって「人としての尊厳」を大切にし、そして「生涯の学び」を保証するため、学校・地域社会及び行政が一体となった教育施策の推進を基本とし、「子供たちの生きる力の醸成」や安全の確保、地域や各種団体等との連携協力した、社会全体での教育力の向上に取り組んでいる。

学校教育分野では、巨大地震や津波などに対応した防災マニュアルの見直しや、非難訓練などを行うなど防災教育の充実や、清水中学校の移転改築を推進、また、少子化に対応した教育環境の整備を進めている。

A L Tの活用など外国文化の理解や、数学・英語・体育などへの非常勤講師による学力や体力の向上をはかっている。

また、生涯学習分野では、「放課後子ども教室」などの開設により、児童の健全育成に努めるなど、学校を側面から支援する各種事業を実施しているほか、住民のニーズに沿った学習機会の提供に向けた取り組みがなされている。  
また、適用指導教室などでは、地道な取り組みがなされ、成果が認められている。

自己点検評価は、目安であるが「ほぼ適正」であると認められている。なお、今後も更なる目標が達成できるように、施策の展開と取り組みの向上を期待するものです。

平成24年 8月10日

評価者 土佐清水市代表監査委員 富田無事生